

エコリーフ環境ラベル 製品分類別基準（PCR）

PCR No.	日本語名	食肉
CP - 02	English	Meat

注) この基準は、エコリーフプログラム実施用に作成されたものです。無断で、一部又は全部を、他の目的で使用することを禁止致します。

No.	大項目	小項目	要求事項
1	製品とラベルの概要	PCRの対象となる製品群	<p>食用に供され、販売される牛・豚・鶏の生肉（骨及び臓器を含む）。 （「食肉の表示に関する公正競争規約」に基づく） 市場に流通している箱詰食肉を対象とする。</p> <p>対象製品から除外されるもの 1) 廃用となった牛・豚・鶏の肉 2) 調味料、香辛料等で味付けした食肉</p> <p>※廃用とは、繁殖能力が低下し、繁殖用として用いない牛・豚・鶏のことをいう。</p>
2		ラベルの対象となる製品範囲	<p>牛肉、豚肉及び鶏肉を範囲とし、商品輸送に使用するダンボール、バンドなどを含む。</p> <p>※以下、牛肉・豚肉・鶏肉の3製品を食肉と総称する。</p> <p>環境負荷の計上は、食肉1kg当たりを単位とする。</p> <p>ラベルの対象は、食肉部位別とする。 （肉、骨、舌、肝臓、胃、腸など）</p>
3		製品ライフサイクルステージ	<p>1. ライフサイクルステージ ①繁殖・育成 ②肥育 ③と殺・加工 ④物流 の4ステージを対象とする。 本PCRにおけるライフサイクル負荷計上の全体像を付表1に示す。</p> <p>2. システム境界 ・上記第2項（製品構成要素と評価単位）で示した商品のみを対象とする。 ・④物流工程における負荷算定は、卸売若しくは小売段階までとする。</p>
4		製品の仕様	<p>1. 食肉 ・種別名称（牛、豚、鶏のいずれか） ・原産地（国、地域名称） ・肥育場 ・部位名称（肉、骨、舌、肝臓、胃、腸など）</p> <p>2. 対象期間とした年度</p>
5		LCAデータの公開内容	<p>1. 必須記載項目 エコリーフ環境ラベル実施ガイドライン3. 2. 5項で規定される以下の3項目とする。</p> <p>・温暖化負荷（CO₂換算 kg） ・酸性化負荷（SO₂換算 kg） ・エネルギー消費（MJ）</p> <p>2. 選択記載項目 エコリーフ環境ラベル実施ガイドライン3. 2. 5項で規定される選択項目とする。 家畜・家禽から発生する排泄物の土壌・地下水への影響については考慮</p>

エコリーフ環境ラベル 製品分類別基準（PCR）

PCR No.	日本語名	食肉
CP - 02	English	Meat

注) この基準は、エコリーフプログラム実施用に作成されたものです。無断で、一部又は全部を、他の目的で使用することを禁止致します。

No.	大項目	小項目	要求事項
			<p>しない。</p> <p>3. 注記 「本ラベルの公開内容には、食品の衛生及び品質に関わる情報は含んでおりません。」と記載する。</p> <p>4. 表現方法 ステージ毎の温暖化負荷量（CO₂換算）を棒グラフで表現する。 なお、牛・豚については、消化管内発酵に関するデータを必須とし、消化管内発酵を行わない場合は、当該欄に”N/A”を記載する。</p> <p>5. 様式2および様式3は本PCRの別紙1、2を用いる。 ただし、繁殖・育成、肥育、と殺・加工を同一敷地で行い、まとめて計算する場合には適宜ステージ区分を修正して使用する。</p>
6		その他エコデザイン関連情報 (新旧製品比較)	
7		その他エコデザイン関連情報	<p>1. タイプIおよび/またはタイプIIIの環境ラベル</p> <p>2. ISO14001認証の取得</p> <p>3. 国または業界団体等の認証・認定・表彰</p> <p>4. 当該商品のライフサイクルステージに関わる事業所等の環境への取り組み</p>
8		製品の原料・部品構成	<p>1. 繁殖・育成、肥育、と殺・加工の各ステージにおけるエネルギー及び資材などは実負荷量を算定する。</p>
9	各ライフサイクルステージの設定	製品製造ステージの モデル化・データ区分等	<p>本PCRにおけるライフサイクル負荷計上の全体像を付表1に示す。</p> <p>1. 繁殖・育成での負荷量計算</p> $\begin{aligned} & \text{(出荷1頭(羽)当たりの繁殖・育成における負荷量)} \\ & = \text{(農場の全負荷量)} \\ & \times \frac{\text{(年間平均全頭(羽)数) - 年間平均廃用頭(羽)数}}{\text{(年間平均全頭(羽)数)}} \\ & \times \frac{1}{\text{(年間出荷頭(羽)数)}} \\ & + \frac{\text{(肥育場までの年間全輸送負荷量)}}{\text{(年間出荷頭(羽)数)}} \end{aligned}$ <p>(食肉1kgあたりの繁殖・育成における負荷量)</p> $= \frac{\text{(出荷1頭(羽)当たりの繁殖・育成における負荷量)}}{\text{(肥育後の家畜・家禽類の1頭(羽)当たり平均生体重量)}}$ <p>本ステージに於いて、年間平均全頭(羽)とは、繁殖・育成農場で飼養される繁殖、育成、幼体、廃用の牛・豚・鶏のことである。</p> <p>本ステージに於いて、出荷頭(羽)とは、繁殖・育成農場から肥育農場へ出荷され、肥育農場において肥育される牛・豚・鶏のことである。</p>

エコリーフ環境ラベル 製品分類別基準 (PCR)

PCR No.	日本語名	食肉
CP - 02	English	Meat

注) この基準は、エコリーフプログラム実施用に作成されたものです。無断で、一部又は全部を、他の目的で使用することを禁止致します。

No.	大項目	小項目	要求事項
			<p>計上項目 (INPUT)</p> <p>電力、燃料、農場外から投入される飼料(注 1)、水道水、輸送用燃料若しくは輸送負荷量(t・km)、その他各社重要と思われる項目</p> <p>計上項目 (OUTPUT)</p> <p>反芻、糞尿処理等に伴い排出する温室効果ガス(放牧の場合の牧草地における糞尿からの排出)、排水、その他各社重要と思われる項目</p> <p>※排水処理施設から回収された温室効果ガスは、OUTPUTから該当量を除外し、燃焼等のエネルギー源として使用した場合にのみ、INPUTに計上する。</p> <p>2. 肥育での負荷計算式</p> <p>肥育1頭(羽)あたりの肥育における 負荷量</p> $= \frac{(\text{肥育農場における年間 全負荷量})}{(\text{肥育後の家畜・家禽の 年間出荷頭数})}$ $+ \frac{(\text{と殺場までの年間輸送 負荷量})}{(\text{年間出荷頭 (羽) 数})}$ <p>(食肉1kg当たりの肥育における 負荷量)</p> $= \frac{(\text{出荷1頭(羽)当たりの肥育における 負荷量})}{(\text{肥育後の家畜・家禽の 1頭 (羽) 当たり平均生 体重量})}$ <p>計上項目 (INPUT)</p> <p>電力、燃料、農場外から投入される飼料(注 1)、水道水、輸送用燃料若しくは輸送負荷量(t・km)、その他各社重要と思われる項目</p> <p>計上項目 (OUTPUT)</p> <p>反芻、糞尿処理等に伴い排出する温室効果ガス(放牧の場合、牧草地における糞尿からの排出)、排水、その他各社重要と思われる項目</p> <p>※排水処理施設から回収された温室効果ガスは、OUTPUTから該当量を除外し、燃焼等のエネルギー源として使用した場合にのみ、INPUTに計上する。</p> <p>注 1) 飼料作物(穀物)の生育により発生する環境負荷量は、BGD として、下記の規定値を使用する。</p> <p>雑穀(とうもろこし、マイロなど) 豆類(大豆など) 麦類(大麦、小麦など) 油糧作物(菜種など)</p> <p>本PCRに規定のない飼料作物については、飼料作物の熱量と上記に記載の飼料作物との熱量比較を各々が実施し、熱量の近い規定値を当てはめる。</p>

エコリーフ環境ラベル 製品分類別基準（PCR）

PCR No.	日本語名	食肉
CP - 02	English	Meat

注) この基準は、エコリーフプログラム実施用に作成されたものです。無断で、一部又は全部を、他の目的で使用することを禁止致します。

No.	大項目	小項目	要求事項
			<p>FGDが入手可能な場合には、FGDを優先して使用する。</p> <p>なお、副産物が当該単位ユニットに含まれる場合、負荷の配分の考え方が妥当である必要がある。</p> <p>3. と殺・加工での負荷計算式</p> <p>(食肉1kg当たりのと殺・加工における負荷量)</p> $= (\text{と殺・加工の年間全負荷量})$ $\times \frac{(\text{当該品種の年間全正肉重量})}{(\text{全品種の年間全正肉重量})}$ $\times \frac{1}{(\text{当該品種の年間処理頭(羽)数})}$ $\times \frac{1}{(\text{肥育後の家畜・家禽類(当該品種)の生体重量})}$ <p>計上項目(INPUT) 電力、A重油、石炭、水道水、合成洗剤、その他各社重要と思われる項目</p> <p>計上項目(OUTPUT) 排水、各社重要と思われる項目</p>
10		物流ステージにおけるモデル化・データ区分等	<p>輸送条件は下記の通りとする。</p> <p>1. 国内輸送部分 10tトラックで流通拠点から出荷先の都道府県庁所在地までの距離を出荷数量割合で平均を求めた距離で計算し、算出する。冷蔵・冷凍の物流負荷も合わせて計上する。 国内輸送部分についての算定は、「エネルギーの使用の合理化に関する法律」を参照し実施することも可能である。</p> <p>2. 海外輸送部分 海外の陸上・海上・航空輸送を含める。冷蔵・冷凍の物流負荷も合わせて計上する。</p> <p>3. 製品の包装・梱包材 製品包装・梱包の製造及び廃棄・リサイクルを含める。</p> <p>4. 国内トラック輸送において、冷蔵・冷凍車などの特殊車両を使用する場合は、普通車両の1.16倍の値を用いることとする。</p>
11		使用ステージにおけるモデル化・データ区分等	ライフサイクルの対象に含めない
12		廃棄・リサイクルステージにおけるモデル化・データ区分等	ライフサイクルの対象に含めない

エコリーフ環境ラベル 製品分類別基準（PCR）

PCR No.	日本語名	食肉
CP - 02	English	Meat

注) この基準は、エコリーフプログラム実施用に作成されたものです。無断で、一部又は全部を、他の目的で使用することを禁止致します。

No.	大項目	小項目	要求事項
13		カットオフルール	<p>動物用医薬品、飼料添加物はカットオフの対象とする。</p> <p>投入飼料重量に比して、上記2品目の投入量が微量であることと、また、不確定要素(疾病・流行病によって使用するものが随時変更される)が高いことによる。</p>
14		収集データの品質要件	<p>代表性に配慮してデータ収集範囲を規定する</p> <p>1. 場所 (国内、国外、代表工場、…)</p> <p>データ実測地となるサイト(事業所、工場)とする。事務部門・研究部門などは対象としなくてもよい。</p> <p>複数事業所にて同一の生産・加工を行っている場合は、代表的な事業所を選定し、データ収集を行う。データ収集を実施した事業所名は開示データに記載する。</p> <p>事業所の代表性については、当該事業所の繁殖・育成・と殺・加工方法が国別の一般的な方法と同様であることを検証する。</p> <p>2. 期間 (年、季節、月、…)</p> <p>【繁殖・育成および肥育】</p> <p>1年間以上のデータを使用し、その条件を明示する。 但し、サイト間の輸送に関連するデータはこの限りではない。</p> <p>【と殺・加工】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年平均値を基準とする。 ・基準以外の場合は、算定に使用した条件を明示し、基準データが揃い次第、置換する。
15		収集データのアロケーション	<p>食肉1kg当たりの負荷量は、生体1頭(羽)当たりの負荷量を部位別の重量比率にて按分し、算出する。</p>

エコリーフ環境ラベル 製品分類別基準（PCR）

PCR No.	日本語名	食肉
CP - 02	English	Meat

注) この基準は、エコリーフプログラム実施用に作成されたものです。無断で、一部又は全部を、他の目的で使用することを禁止致します。

No.	大項目	小項目	要求事項
16	インベントリ計算	LCI 計算の考え方	<p>1. 卸売もしくは小売に商品が到着した段階での、食肉 1 k g 当たりの数値を基本とする。</p> <p>2. 繁殖・育成・肥育、と殺・加工を同一敷地で行う場合は、合計値を使うことも可能とする。</p> <p>3. 生体の消化管内発酵、および、糞尿処理等に伴う温室効果ガスの排出負荷は、「地球温暖化対策の推進に関する法律施行令」第三条排出係数一覧表を使用する。</p> <p>4. 再生資材を用いる場合は、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・再生資材の回収輸送から製造サイト投入（含まず）に至るまでの環境負荷をリサイクル材料製造として計上する。 ・再生資材を用いる場合は廃棄による環境負荷分は「リサイクル効果」として計上する。
17		共通原単位の使用条件	<p>1) 「エコリーフ用 L C I 共通原単位リスト」を用いる。</p> <p>2) 合成洗剤は、エコリーフ用 L C I 共通原単位リストを使用する。</p>
18	LCIA	インパ 外ガコリおよび特性化係数の追加	追加なし

【注記】

第 1 5 項においては、アロケーションを重量比率にて按分し、算出することとしている。食肉は、その産地、育成方法、品種などにより価格が決定され、また、国・地域ごとに部位のカットも異なるなど、経済価値比率を共通化することが困難であるためである。生体における各部位の構成比率は、例えば、下記の通りであるが、本 PCR ではこれらの区分を行わない。

牛

正肉：3 7. 6 %、骨：1 2. 7 %、食用内臓：8. 5 %、非食用内臓：8. 7 %、皮：8. 5 %、脂肪：6. 6 %、血液：2. 4 %、その他：1 5. 0 %

豚

正肉：5 3. 8 %、骨：1 0. 7 %、食用内臓：8. 5 %、非食用内臓：7. 2 %、皮：9. 5 %、脂肪：7. 0 %、血液：3. 0 %

鶏

正肉：5 0. 0 %、骨：2 8. 0 %、内臓：7. 0 %、羽毛：5. 0 %、脂肪：6. 0 %、血液：4. 0 %

（社団法人日本畜産副産物協会のウェブサイトより）

本 PCR の制定・承認情報

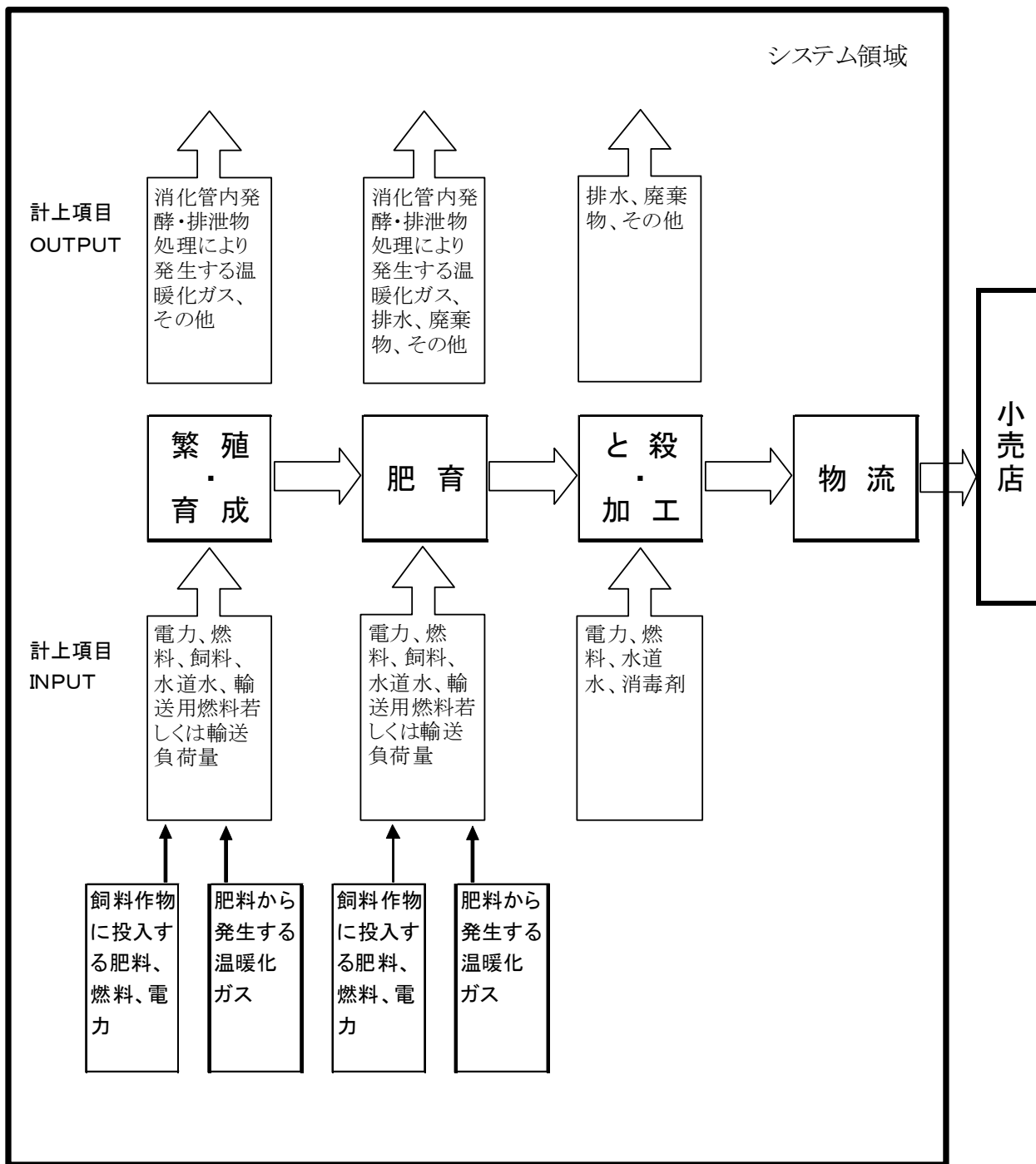
判定した委員会名	評価レビューパネル 代表：山口 庸子 所属：共立女子短期大学		
レビュー実施日(制定/改訂)	2009/2/19	有効期間	2012/2/19～2015/2/18

※現行の P C R を対象に、有効期間は、制定・更新または継続を目的とした改訂から丸 3 年とする。

本 P C R の改訂等履歴

実施日	訂番等	実施内容
2008/11/28	01	制定
2009/2/19	02	改訂
2012/2/19	-	更新

付表1: 食肉のライフサイクルステージ(第3項、第9項参照)



製品環境情報

Product Environmental Aspects Declaration



食肉(適用PCR番号:CP-XX)

No. XX-XX-XXX

公開日 年 月 日

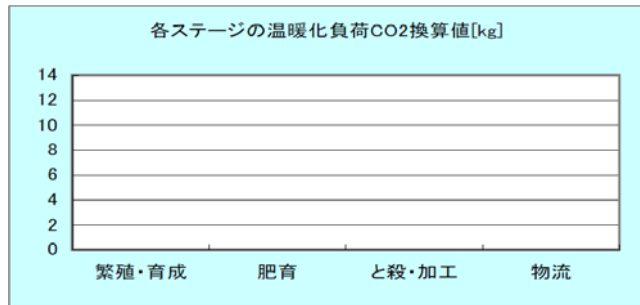
お問い合わせ先

対象年度	
畜種	
部位名称	
原産地	
繁殖牧場	
肥育牧場	

算定対象商品の外観(写真など)

ライフサイクルにおける主な環境負荷(食肉1kg当り)

ライフサイクルでの消費・排出	全ステージ合計
温暖化負荷(CO ₂)換算	kg
酸性化負荷(SO ₂)換算	kg
エネルギー消費量	MJ



排出量に占める温暖化負荷の比率(%)

	繁殖・育成	肥育	と殺・加工	物流	合計
エネルギー					
消化管内発酵					
その他					

- (注) 1. 基礎データは、製品環境情報開示シート(PEIDS)並びに製品データシートに記載されています
 2. データ算出のための統一基準は製品分類別基準(PSC)をご覧ください。詳細は <http://www.jemai.or.jp> をご覧ください
 3. 本製品の出荷国は【ここに国名を記載】ですが、現地の原単位データが未整備のため日本国内データを使用して計算しています
 4. 本ラベルの公開内容には、食品の衛生及び品質に関する情報は含んでおりません。
 5. 梱包材は、製品と一緒に小売にわたるため製造のみで廃棄・リサイクルの負荷は含んでおりません。

【その他環境関連情報】

様式2(CP)

製品環境情報開示シート(PEIDS)

Product Environmental Information Data Sheet(PEIDS)



文書管理番号	F-02B-02
エコリーフ作成事業者名	
エコリーフ登録番号	

エコリーフ原単位データベース	
エコリーフ特性化係数データベース	

版
版

製品分類名	食肉	製品形式	畜種:	原産国:	肥育場:	部位名称:
PCR-No.	GP-	製品[kg]	1	包装他[kg]	全体[kg]	

入出力項目		ライフサイクルステージ	単位	繁殖・育成	肥育	と殺・加工	物流	合計	
消費エネルギー			MJ						
			Mcal						
インベントリ分析	消費負荷	森林資源							
		枯渇資源							
		鉱物資源							
インパクト評価	消費負荷	資源枯渇							
	環境排出負荷	大気へ							
		水域へ							

【共通備考】

I ステージ関連

- 1 製造ステージ: 繁殖・育成、肥育、と殺・加工より構成される。
- ・ 製造ステージ(繁殖・育成): 子牛・子豚・雛鳥の生産から肥育場へ出荷される牛・豚・鶏の育成、飼料の生産、肥育場までの輸送等が含まれる。

製品データシート

(LCA計算のための入力データ, 設定数値)



文書管理番号	F-03-02
エコリーフ作成事業者名	
エコリーフ登録番号	

製品分類名	食肉 (適用PCR番号:CP-)	製品形式	畜種:	原産国:	肥育場:	部位名称:
製品単位		製品[kg]	1	包装他[kg]		全体[kg]

1. 製品情報(食肉1kg当たり)

製品構成材料の内訳				別途, 加工・組立負荷計算の必要な部品の内訳			
材料名	質量[kg]	材料名	質量[kg]	加工名	質量[kg]	組立名	質量[kg]
小計		小計					
合計				小計		小計	

【解説】

2. 製造ステージ情報

(1) 繁殖・育成ステージ情報(食肉1kg当たり)

・SOx, NOx量は、それぞれSO₂, NO₂換算値。

消費	区分								
	内訳項目								
	量								
	説明								
排出	区分								
	内訳項目								
	量								
	説明								

【解説】

(2) 肥育ステージ情報(食肉1kg当たり)

消費	区分								
	内訳項目								
	量								
	説明								
排出	区分								
	内訳項目								
	量								
	説明								

【解説】

(3) と殺・加工ステージ情報(食肉1kg当たり)

消費	区分								
	内訳項目								
	量								
	説明								
排出	区分								
	内訳項目								
	量								
	説明								

3. 物流ステージ情報(食肉1kgおよび相当分の包装材当たり)

消耗品等	区分								
	内訳項目								
	量								
	説明								

【解説】

4. その他